

小学校総合学習ハンドブック



みんなで創ろう
明日のまよた



清田区役所

みなさんは、自分たちの住んでいるまち、清田区が好きですか？ どういうところが好きですか？ また、どんなところをもう少しよくしていったらいいと思いますか？

みなさんも、この本をとおして清田区の昔や今のすがたを見つめ、未来のまちをどのようにしていったらよいか考えてみましょう。みなさんのまちづくり参加はもう始まっています！

- ✿ この本を手がかりにして、身近な自然のようすやまちの歴史などを学びましょう。
- ✿ わからないことや興味のあることを、先生や地域の人たちに聞いて調べましょう。
- ✿ みんなで協力して、身近なところからまちづくりに取り組みましょう。
- ✿ 清田区がめざすまちの姿を実現するために、自分にできることを考えてみましょう。

ぼくの名前は「きよっち」。

清田区が誕生した11月4日に生まれた森の妖精だよ。帽子の「K」の文字は清田区のシンボルマークで、胸には区の自然を表す木の葉の柄が入っているよ。

ぼくと一緒に清田区について学ぼう!!



もくじ



1 清田区ってこんなところ

(1) 位置	2
(2) 特ちょう	4
(3) 清田区のシンボル	6
(4) 清田ふるさと遺産	8

2 自然ウオッチング

(1) 清田区の自然	10
(2) 植物	12
(3) 鳥	20
(4) こん虫	22
(5) 水辺の生き物	24
(6) 平岡公園	26
(7) 白旗山と有明の滝	28
(8) 自然観察ができる公園や緑地	30

◆清田区にある自然を見つけよう! (ワークシート) 32

3 歴史をたずねて

(1) 地域の歴史を調べよう	36
(2) 清田区のあゆみ	42
(3) 昔のくらし	44
(4) 昔の仕事	46
(5) 米作りの時代	48
(6) 室蘭街道	50
(7) 小学校の移り変わり	52
(8) 地名の由来	54

◆清田区の歴史を見つけよう! (ワークシート) 56

4 まちづくりは今

(1) まちづくりの進め方	60
(2) 町内会の活動について	61
(3) 地域で活動する人びと	62
(4) 川を生かしたまちづくり	64
(5) 災害にそなえて	66
(6) 環境にやさしいくらしのために	68
(7) みんなもできるまちづくり	70

● 先生・保護者の皆さまへ 72

1 清田区ってこんなところ

清田区に住み、毎日くらしているみなさんは、清田区についてどれだけのことを知っていますか？ 知っているようで、意外と知らないこともたくさんあるものです。まずは清田区について、かんたんなことから調べてみましょう。

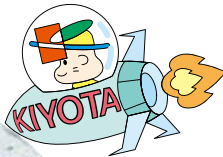
1 位置

宇宙から清田区に近づいてみましょう。

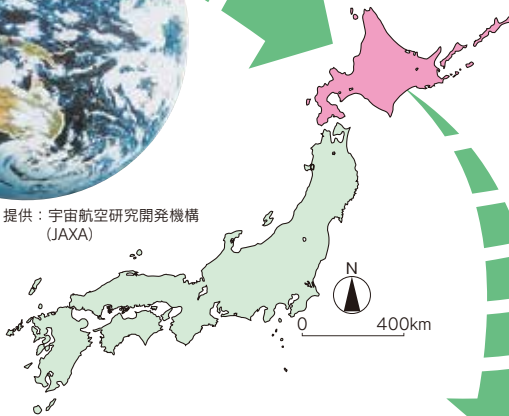
地球



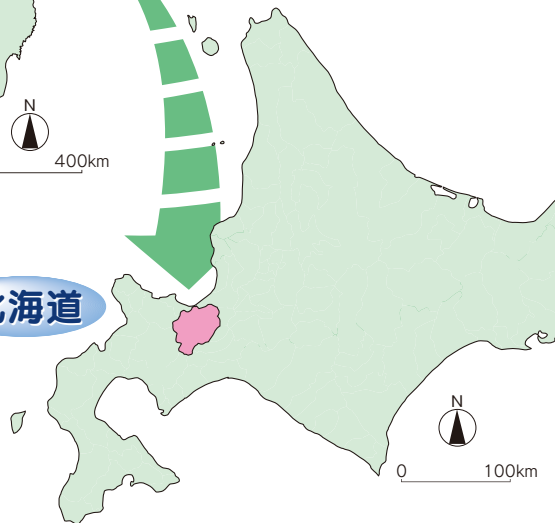
提供：宇宙航空研究開発機構 (JAXA)



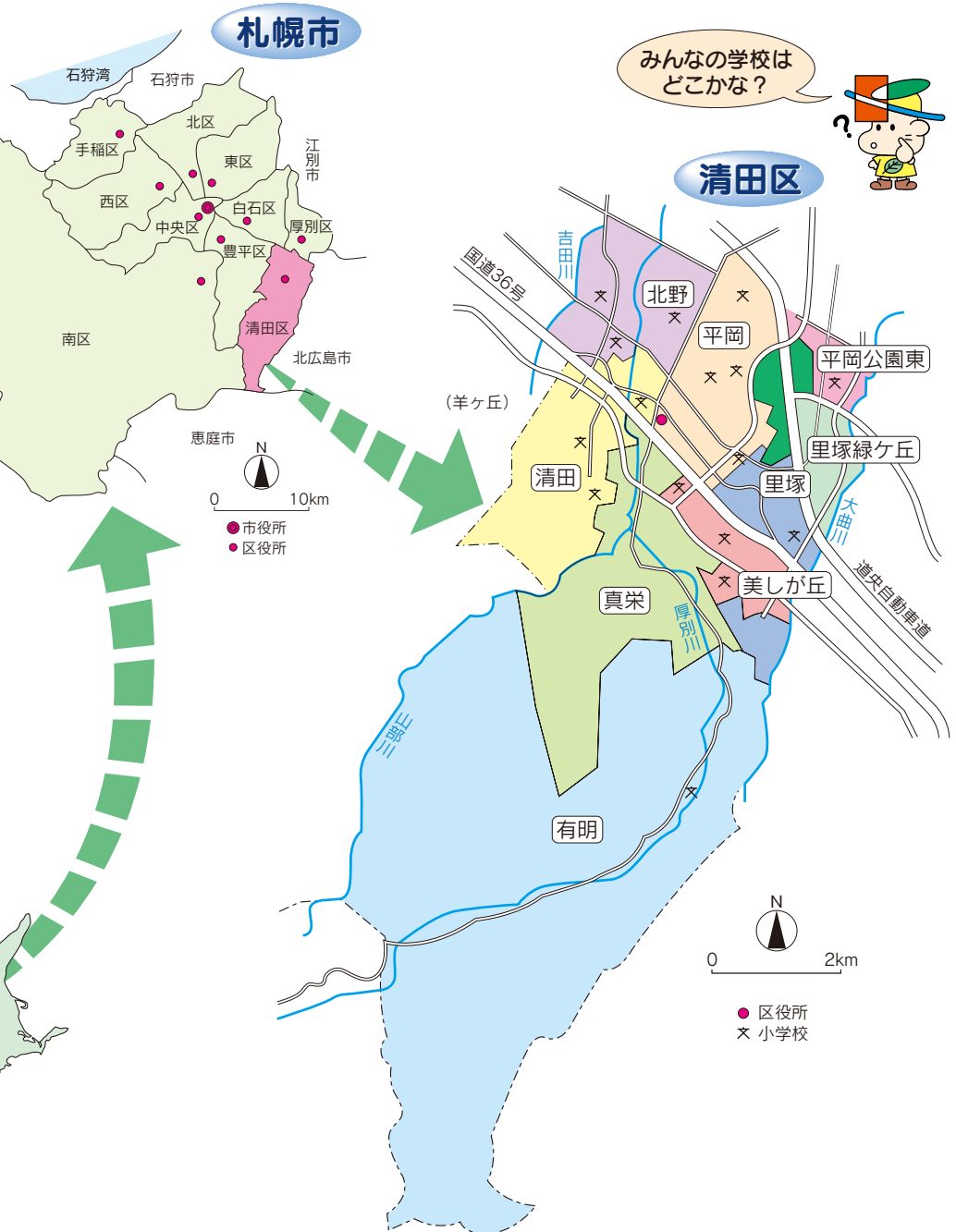
日本



北海道



1 清田区ってこんなところ



とく

2 持ちょう

札幌市は日本で5番目に人口の多い都市です。たいへん大きいので、10の区に分かれています。清田区は10番目の区として、平成9年(1997年)に豊平区から分かれて誕生しました。

面積は59.87平方キロメートルで、南区、西区、北区について4番目の大きさです。

人口は、令和4年(2022年)10月現在、約11.1万人。札幌市に隣接する北広島市(5.7万人)と石狩市(5.8万人)とを合わせた人口(11.5万人)とほぼ同じで、多くの方が住んでいます。

清田区の特徴は、白旗山や平岡公園など、緑がたくさんあることです。区のおよそ3分の2が丘や山で、あしりべつ川など多くの川にも恵まれた自然豊かな美しい区です。また、できて間もない住宅地が広がり、たくさん子どもたちがいる若いまちでもあります。

清田区のシンボルマーク

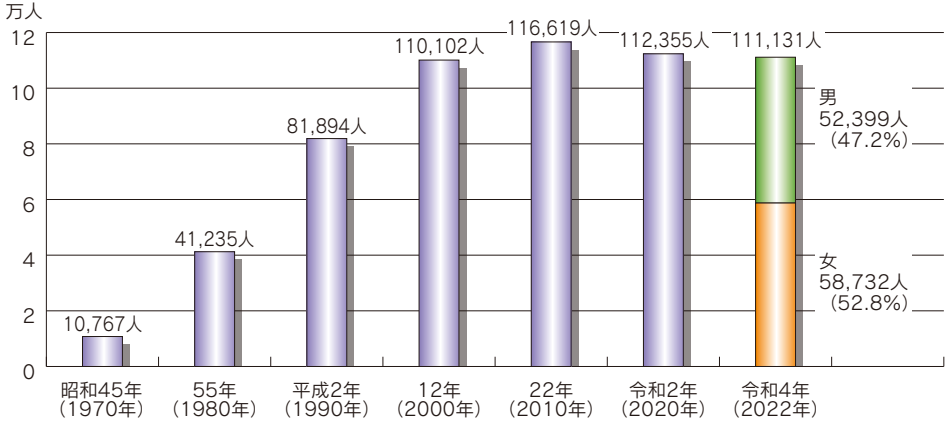
平成9年(1997年)11月制定

大木と厚別川を組み合わせ、全体で清田区の頭文字「K」を表しています。



1 清田区ってこんなところ

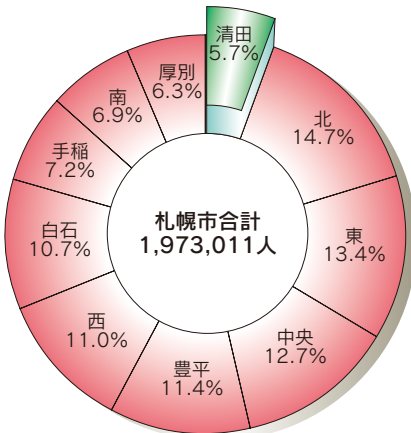
清田区の人口の移り変わり 各年10月1日現在



〈資料〉札幌市まちづくり政策局政策企画部「さっぽろ統計情報」ホームページ
 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

区ごとの人口の割合

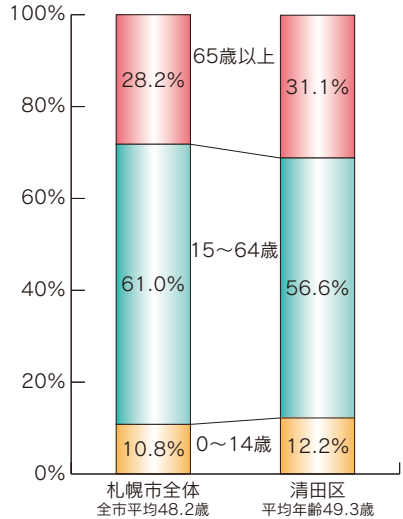
令和4年10月1日現在



〈資料〉札幌市まちづくり政策局政策企画部「さっぽろ統計情報」ホームページ

住民の年齢構成

令和4年10月1日現在



〈資料〉札幌市まちづくり政策局政策企画部「札幌市の年齢地域別人口(住民基本台帳人口)」

3 清田区のシンボル

清田区は平成9年に誕生し、平成19年に誕生10周年を迎えたのを記念して、区のイメージを表す3つの「清田区のシンボル」と、未来に残していくべき12の「清田ふるさと遺産」を選びました。

しら はた やま

白旗山

山頂



清田区の
シンボルは
自然がいっぱい
だね！



清田区の南西部に位置し、標高は321.5メートル。その一帯は札幌市最大の市有林として木材を生産していました。現在は「白旗山都市環境林」として自然観察の森やふれ

あいの森、自然歩道などが整備されているほか、隣接する有明の滝都市環境林

には自然探勝の森が整備されています。また、

FIS（国際スキー連盟）の距離競技場である白旗

山競技場があり、冬は各種競技大会の会場として、夏は天然芝のサッカー場として通年利用されています。自然観察の森では自然体験学習や自然観察が楽しめます。ふれあいの森ではクイズに挑戦しながらの散策、木工や陶芸が体験できる教室、冬のかんじき散策などさまざまなイベントを開催しています。自然探勝の森には散策路が整備され有明の滝を間近で見ることが出来ます。雄大な森の自然が見せる四季折々の表情が訪れる人たちを楽しませています。

(P.28.29を参照)



1 清田区ってこんなところ

あしりべつ川



札幌市を流れる1級河川で、長さは41.7キロメートル。豊平川について市内で2番目に長い川で、空沼岳山頂付近を源流とし、下流で豊平川に合流しています。正式な河川名は「厚別(あつべつ)川」ですが、清田の周辺が昔「アシリベツ」と呼ばれていたことから、「あしりべつ川」として親しまれています。清田区の中心部分を南北に縦断しており、河川敷に樹木や花々が栽培されるなど緑地として整備され、散策やパークゴルフを楽しめる憩いの場となっています。春には河川敷にこのほりが掲げられるなど、地域の皆さんに広く親しまれています。

ひら おか ばい りん

平岡梅林

清田区唯一の総合公園である平岡公園の西側に6.5ヘクタールの広大な梅林が広がっています。梅林には豊後性の紅梅種と白梅種が4:6の割合で約1200本植栽されており、札幌の梅の名所として広く知られています。開花期は5月上旬頃で、期間中には区民だけではなく各地からの観光客などおよそ10~20万人が訪れ、その色鮮やかな花の美しさと香りを楽しみます。



4 清田ふるさと遺産



◆あしりべつ川

河川名は「厚別（あつべつ）川」ですが、清田区では昔から「あしりべつ川」と呼ばれています。「厚別（あしりべつ）橋」付近には清田の発展に大きな役割をはたした「吉田用水」の記念碑が建てられています。河川敷に広がる「厚別（あしりべつ）川緑地」は多くの区民に親しまれ、ウォーキングコースや手作りのパークゴルフコースとして利用されています。北野ふれあい橋周辺では「北野ふれあい夏まつり」が開催され、夜の花火大会には区外からも多くの人々が訪れます。



◆しらはたやま 白旗山

ふれあいの森には、木工館・陶芸窯などの施設があり、木をつかった工作や陶芸を体験できるほか、炭火焼きコーナーではバーベキューが楽しめます。白旗山競技場では、クロスカントリーのスキーコースが整備されFIS公認の国際大会が行われているほか、夏は天然芝のサッカー場としても利用されています。自然観察の森では、季節によって、森林浴・山菜採り・キノコ狩りを楽しむことができ、冬季にはかんじきでの山歩きも体験できます。

2017年2月に
冬季アジア札幌
大会が白旗山で
行われました



◆あしりべつ郷土館

実際に使われていた農具や生活用品の展示をはじめ、いろりばたのある農家の様子などが復元展示されており、清田の開拓の歴史を知ることができます。拡大された航空写真を年代ごとに見比べると、開拓時代からの開発の歴史が実感できます。



◆あしりべつじんじゅ 厚別神社

明治18年に、豊作や村人の安全を願って厚別川東側（旧国道36号との交差付近）に建てられた神社が、大正6年に現地に移されました。境内には、清田地区の開拓100周年の記念碑があります。石段を登ってふりかえると、大変にながめが良いと評判です。



◆ありあけたき 有明の滝

ミズナラ、ホオ、イタヤカエデなどの広葉樹が茂り、緑のトンネルのような散策路を歩くと、落差13メートルの滝が現れます。1時間の散策で、体いっぱい自然を感じることができます。秋は紅葉で人気があります。



◆ひらなか 平岡公園

梅林の名所として知られるほか、ゲートボール場、パークゴルフ場、テニスコート、野球場もあり、多くの市民に利用されています。また、梅林と厚別中央通り側をつなぐ「梅の香橋」付近の湿地では、ホタルをはじめ、様々な動植物を観察することができます。



1 清田区ってこんなところ



◆平岡樹芸センター「みどりーむ」

平岡の故・竹沢三次郎氏から、全道各地の樹木、石を集めた庭園の寄贈を受け、昭和59年に開園しました。園内には日本庭園や西洋庭園、ロックガーデンがあり、イチイ、マツ、サクラ、ツツジ類などが植栽されています。庭木相談所には、相談コーナー、講義室、展示室、図書コーナーが設けられ、庭や自然に関する多くの相談を受けています。



◆北野たかくら緑地

大正13年に故・高倉左輔氏が牧場として開拓した区域の一部を緑地にしたものです。回転ゲートから入る木道は清浄な空気と静けさに満たされ、コナラの森には野鳥や昆虫が生息し、地域住民の絶好の自然観察ポイントとなっています。



◆清田の水を生かした食品産業

清田の家庭では、かつて生活用水には井戸水（地下水）が使用されていました。現在では、ほとんどが水道水に切りかわりましたが、良質で豊かな清田の地下水は、現在でも区内の飲料や食品の製造工場で使用されています。



◆旧道沿いの原風景

緩やかに蛇行・起伏する旧国道36号は、古くから地域の人々の生活を支えてきました。道路沿いには、懐かしいレンガ倉庫、桜並木、樹齢約200年のヤチダモ（清田小学校前）などが点在するほか、宅地化が進むなかで、清田緑地が自然林のままで残っています。また、清田小学校の「ゆめたんぼ」、区役所裏にある「ホタル池」などは、開拓当時の清田の田園風景を思い起こさせてくれます。



◆清田南公園

起伏に富んだ地形と清田川貯水池が美しい公園です。この公園でひととき目を引く清雲橋は、平成2年に架けられ、清田川で分断されていた清田団地の西地区と南地区を結びました。



◆住宅街に残る原風景

開発が進む一方で、三里塚小学校の校庭にある樹齢約150年のイチイ、自然を生かしたレクリエーション施設、アオサギが飛来する姿など、住宅街にも清田の原風景を思い起こさせるものが残っています。

2 自然ウォッチング

し ぜん

1 清田区の自然

清田区一帯は、およそ3万2千年前に樽前山（苫小牧市）や恵庭岳（千歳市）などが噴火したときにできた月寒台地の一部です。今でも、土地の表面に火山灰が積もっているところがあります。

森林の大部分はもともと原生林でしたが、開拓によって木が切られた後に自然に生えたり人が植えたりしたものです。白旗山は札幌市最大の市有林となっています。

また、清田区は川や水にも恵まれ、平岡公園や北野たかくら緑地などにわき水が出る場所が残っています。

昔の清田区には、今よりもたくさんの生き物がいましたが、まちの発展とともにいなくなってしまうものも数多くあります。

この本には現在清田区でよく見ることが出来る植物や鳥、こん虫、魚などをのせています。みなさんも、森や川に出かけて、いろいろな生き物をウォッチングしてみましょう。

ウオッチングのこころえ

生き物をつかまえても、観察が終わったらもとの場所にもどしましょう。

草花をむやみにつみとらないようにしましょう。

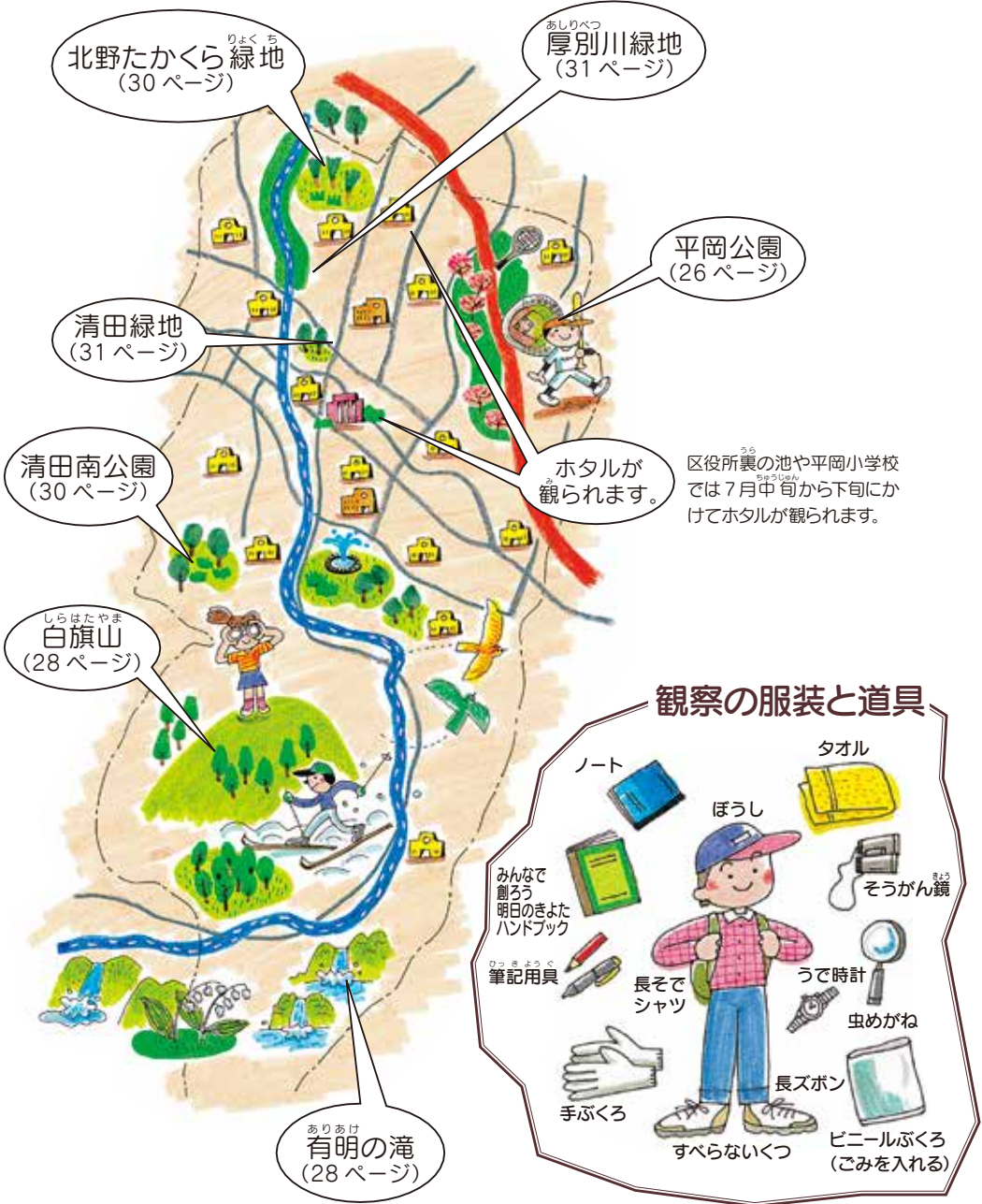
川や水辺などの危険なところには、大人の人と出かけるようにしましょう。

ごみを散らかさない、係の人の指示にしたがうなど、マナーを守りましょう。

出かけるときの服装や持ち物は、自然観察に便利なようにくふうしましょう。



自然ウォッチングができる場所



北野たかくら^{りよくち}緑地
(30 ページ)

あしりべつ
厚別川緑地
(31 ページ)

平岡公園
(26 ページ)

清田緑地
(31 ページ)

清田南公園
(30 ページ)

ホタルが
観られます。

区役所裏の池や平岡小学校
では7月中旬から下旬にか
けてホタルが観られます。

しらはたやま
白旗山
(28 ページ)

ありあけ
有明の滝
(28 ページ)

観察の服装と道具

ノート

タオル

ぼうし

みんなで
倉ろう
明日のきよた
ハンドブック

そうがん鏡

ひつきようぐ
筆記用具

長そで
シャツ

うで時計

手ぶくろ

虫めがね

長スポン

すべらないくつ

ピニールぶくろ
(ごみを入れる)

2 植物

森や草原にはどんな植物が見られるでしょう

清田区には森や公園がたくさんあります。そこには、いろいろな草花や木、きのこなどがあり、春から秋までさまざまな色や形のものが見られます。身近な植物に目を向け観察してみましょう。

春に見られる花

● 4月の中ごろから



アキタブキ

花はフキノトウと呼ばれています。

エソタンポポ

花びらの下にある部分^{かんさつ}が上向きです。だんだん数が減ってきていますが、清田にはまだ少し残っているのでさがしてみましよう。



キタコブシ

葉が出る前に大きな花をたくさん咲かせます。

● 5月になると



ヒトリスズカ

つやのある4枚の葉に白い花がよくめだちます。



マイツルソウ

ツルが羽を広げたようすに見えます。

実



マムシグサ

コウライテンナンショウともいい、くきがマムシににています。



**ウルシに
ちゅうい!**

森の中にはツタウルシの木がたくさんあります。3枚に分かれたつやのある葉を持ち、地面や木をはっていきます。さわるとかぶれを起こす毒がある植物です。森の中では手ぶくろをはめましよう。



夏から秋に見られる花



クサノオウ

4枚の黄色い花びらを持つケシの仲間です。



イヌタデ

道ばたなどどこでも見られ、10月まで咲いています。



アキノキリンソウ

7月～9月まで明るい野原で見られ、1mぐらいにもなります。



エソノコンギク

野原や道ばたで見られるこん色のキクです。



ヤマハハコ

ドライフラワーにもなります。

花やきのこの他にも、清田区の森にはミズナラやコナラ、ハルニレ、シラカンバなどの広葉樹が多く見られるよ



夏と秋の実



シナノキ

風で飛びやすいようになっています。



ヤマグワ

黒くなると、食べられます。



エソネイトコ

赤い実をたくさんつけます。



ミズナラ コナラ

どちらも森の動物たちにドングリをプレゼントします。ミズナラとコナラは葉の形がちがっています。

きのこ



ベニテングダケ

毒のあるきのこです。



ハナグチ

(ラクヨウ)
カラマツ林に発生します。



ホコリタケ

(キツネノチャブクロ)
上のあなからほごりのような胞子が出ます。



ツチグリ

これもきのこの仲間です。

きのこには食べると毒のあるものもあります。観察だけにしましょう。

春— 4月、林の中の春は里よりおくれて、やなぎやこぶしから花が咲き始めます。

エソヤマザクラ

アサダ

コナラ
平岡・清田に多い

トドマツ

アオダモ

フッキソウ(木)

ナニワズ(木)



イタヤカエデ



エソノカワヤナギ



オオカメノキ



コナラ



ミズナラ



シラカンバ

2 自然ウォッチング



かわめ木の皮や芽には持ちようがあるよ。どんな芽が出るのかな？



夏—6月～8月にかけて、木々は次々に花を咲かせ実をつけ始めます。葉はいっそう緑こなり、虫や鳥のすみかになります。

ケヤマハンノキ

シナノキ

ハリギリ

オシダ(シダ)

ツルアジサイ

アキタブキ(草)



ウダイカンバ

カツラ

サワシバ

ヌルデ

トクサ(シダ)

エゾヤマハギ(木)

クマイササ

オオウバユリ(草)

秋・冬はご一秋になると木々は紅葉こうようし冬をむかえます。実は風や鳥によって運ばれ、その上に落ち葉のふとんがかけられ春の芽生えを待ちます。落ち葉は森の養分ようぶんになります。

真栄地区の森の紅葉



2 自然ウォッチング



3 鳥

林や公園、庭にはどんな鳥が来るのでしょうか。鳴き声から野鳥をさがしてみましょう。

森や林にいるこん虫や木の葉、池や川にすむ生き物を求めてたくさんの鳥が集まってきます。

主に春から秋にかけて見られる鳥



アオジ

やぶのある林や住宅地にも来ます。チョッピンチロロ、チーチヨロリとゆっくり鳴きます。



カワセミ

川べり、湖にいます。水中に飛びこんで小魚をとります。ツイーとするとく鳴きます。



アオサギ

湿地の太木にコロニーを作ります。水辺と静かな森がなければ生活できない鳥です。全長約90cm(翼開長170cm)



センダイムシクイ

広葉樹林にいます。高い木の上でリュリュ、チョチョビーとさえずります。



チゴハヤブサ

林に巣を作り小鳥を食べます。一直線に早いスピードで飛びます。



ウグイス

ささの多いやぶの中においてホーホクキョ・クキョクキョとくり返します。



モズ

こん虫やカエルなどを木の枝にさします。キィキィと鳴きます。

「オオルリ」「クロツグミ」「キビタキ」は春の三美声の鳥です。



オオルリ

水辺の広葉樹を好み、ピールリボールリと大きな声で鳴きます。



クロツグミ

地上を歩きこん虫やミズをとります。キョロリキョロキリキヤラキヤラツリーと美しい声で陽気にさえずります。



キビタキ

山地の林にいます。オーシンツクツクピッコロピルルと明るくさえずります。

主に秋から冬にかけて見られる鳥



キレンジャク

平地の林や住宅地にヒレンジャクと群れを作って来ます。



マヒワ

林に群れを作って来ます。草木の種を食べます。



ツグミ

林や畑、住宅地でも見られます。クィクィキュツキュツと二声ずつ強く鳴きます。

大きさをくらべてね



スズメ

1年中見られる鳥



アカゲラ

かれ木にあなをあげ巣を作ります。キョッキョツとするとい声で鳴きます。



ヤマガラ



ヒガラ



シジュウカラ



ハシブトガラ

カラ類はいっしょにすることが多いです。色や形のパターンが少しづつちがうのがわかるかな？



コゲラ

一番小さいキツツキで林や平地にいます。ギィーギィーと鳴きます。



ヒヨドリ

住宅地でも見られ、ピイッピイッ、ピーーとけたたましく鳴きます。木の実を食べます。



シメ

明るい林や畑でよく見られます。木の実を食べますが、はんしょく期にはこん虫も食べます。



ムクドリ

家の近くや畑などで見られます。秋から冬に何百何千と群れを作ります。



ハクセキレイ

住宅地でも見られ尾を上下にふって歩きます。



ミヤマカケス

林にいますが庭にも来ることがあります。ジャージャーとしわがれ声で鳴きますが、他の鳥の声のまねもします。



オス



メス

マガモ

川や沼にすみ水草や水生小動物を食べます。

4 こん虫

森や林、草原にはたくさんのこん虫が集まってきます。
どんな虫がいるのかさがしてみましよう。

清田区の森や林の植物の種類は多く、その植物に集まってくるこん虫もたくさんいます。中でもいろいろなチョウが美しい羽を広げて飛んでいます。6月にはエゾハルゼミが林の中で鳴きはじめ、初夏の訪れを知らせてくれます。クワガタやカナブンといった甲虫も多くいます。



エルタテハ

カラマツの林

クロヒカゲ

シラカンバ

スズメバチの巣

ウラギンヒョウモン

エゾハルゼミ

スミレ

キアゲハ



ミヤマカラスアゲハ

アザミ

ちゅうい



スズメバチは身を守るため人をさすことがあるので、しん動やしげきを与えないようにしましょう。



スズメバチ

2 自然ウオッチング



5 水辺の生き物

山の中の小川や町を流れる川、公園の池には生き物がいっぱいです。

アキアカネ



ノシメトンボ



ガマ

ミズドクサ



ヘイケホタル
幼虫はカワニナなどを食べます。

アメンボ



水の表面が赤く見えるところは、土の中の鉄分がでてきたもので、水が汚れているわけではありません。

イバラトミヨ

きれいな川や池、沼などにすんでいます。オスは水草などで巣を作り、メスに産卵させ、外で見はっています。体長 5cm ぐらい。



エゾウグイ

川の上流、中流、池、沼などにすんでいます。他のウグイとちがいで、卵を産むころでも体の色が変わります。体長 20cm ぐらい。



ザリガニ (ニホンザリガニ)

日本に昔からいるザリガニで北海道と東北 3 県だけにすんでいます。たいへん少なくなってきました。



自然にやさしく



家で育てていた魚やカエルやザリガニといった水生動物を、池や川に、放すのはやめましょう。その場所の本来のすがたがかわされるからです。

清田区でいちばん長い川、厚別川とそのまわりの緑地は、いろいろな生き物のすみかになっています。

また、区内の^くところどころに小川や池が^の残っていて、こ
ん虫や魚にとってたいせつな場所になっています。

ヨシ

ニホンアマガエルは3cmぐ
らいで、場所によって色を
変えます。エゾアカガエル
は5cmぐらいで、北海道
だけにすんでいます。

ニホンアマガエル エゾアカガエル

エゾサンショウウオ
北海道だけにすんで
いて、たいへん少なくな
ってきました。体長14
~19cm。

フクドジョウ

きれいな中流の砂や川底に
すみ、口ひげが6本ある北
海道特産のドジョウです。
体長10cmぐらい。

ニジマス

オス、メスともに体長
15cmぐらいになると体
に赤色のもようがあらわ
れ、産卵期になるとオス
は特にあざやかになりま
す。体長50cmぐらい。

ヤマベ (ヤマメ)

川ですずすものをヤマベ、海
へおりるものをサクラマスと
いい、サクラマスは3年で川
にもどります。ヤマベは体長
30cm、サクラマスは60cm
ぐらい。

ハナカジカ

ほご色で身を守
り、石の下に卵を
産みます。体長
15cmぐらい。

カワニナ

川の底の石についている藻
や落ち葉などを食べます。
体長3cmぐらい。

6 平岡公園

梅の名所として有名なほかに運動公園もあり、多くの市民に利用されています。また、豊かな自然が残されており、西側の湿地には、様々な植物やこん虫が見られ、木、草花、こん虫などの生き物が四季を通じて入れ変わります。そして、野鳥のたいせつなすみかともなっています。

湿地の植物

4月になると湿地ではいち早くエソノカワヤナギやミズバショウなどの花が咲きはじめます。



ミズバショウ
(4~5月)



ザゼンソウ
(4~5月)



オオバナノエンレイソウ
(5~6月)

葉、がく、花弁、おしべなどが3つずつで、重ならないように咲きます。

6月になると、ミズドクサが胞子をつけ、カヤ類がのびてきます。羽化したトンボがこれらの草に羽を休めます。秋まで湿地でガマ、サワヒヨドリ、セリなどが次から次へと花を咲かせます。



アブラガヤ
(8~10月)



ミズドクサ
(6月)



サワヒヨドリ
(8~10月)

林の中の木

林の木は広葉樹が多く、オオカメノキ、ホオノキ、ハリギリ、ナラなどがめだちます。また、カエデもいろいろな種類が見られます。



オオカメノキ
(5~6月)



ホオノキ
(6月)



ハウチワカエデ
(6月)



コナラ
(9月)

10月には、落ちたどんぐりからもう芽が出ています。5月に双葉が出ます。

林の中の花



フデリンドウ
(5月)

草丈が5cmほどの小さな花です。



ギンリョウソウ
(6~7月)

落ち葉の中にガラスのような花が咲きます。



コケイラン
(6月)

どちらもランのなかまで、にています。コケイランの方が少し大きく、早く咲きます。



トケンラン
(6~7月)



梅の香橋
木製の長いアーチ橋です。



ウメ
公園には、白梅と紅梅があります。



湿地にすむトンボ



シオヤトンボ (6月)



モイワサナエ (6月)



カワトンボ (6月)



オニヤンマの羽化の状況

6月から10月まで他にもいろいろなトンボが湿地に現れます。

(6月下旬から7月上旬)

7 白旗山と有明の滝

清田区の南半分を占める、広くて緑豊かな森林。

いろいろな草花や木々、生き物たちが息づく自然の中を
探検してみましょう。

【白旗山 都市環境林】 (1062ヘクタール)

白旗山には大正2年(1913年)からカラマツが植えられ、炭坑で使う坑木や電柱、足場丸太の材料として使われてきました。

現在は、都市環境林として保全され森林レクリエーションに活用されています。

- トイレ
- 駐車場
- あずまや

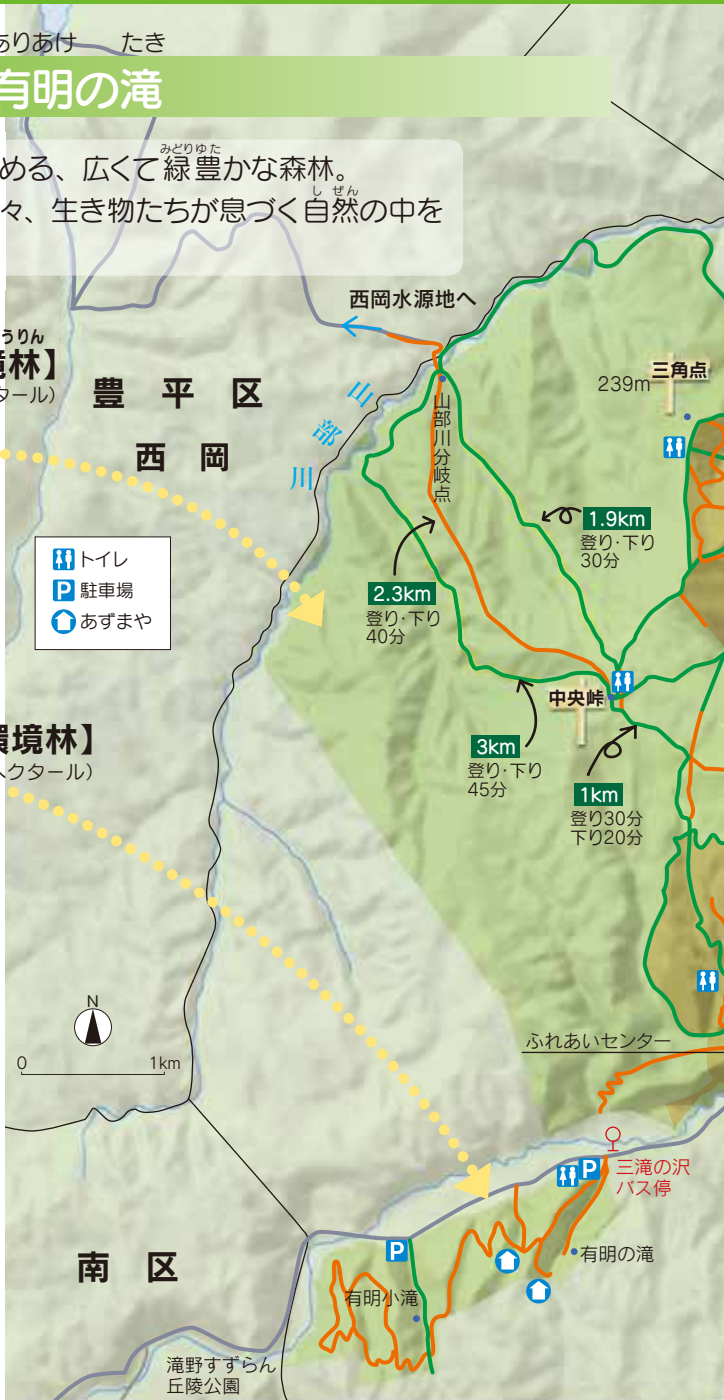
ありあけ 【有明の滝 都市環境林】 (83ヘクタール)

●自然探勝の森

小道を歩いていくと、有明の滝(落差13m)、有明小滝(落差5m)の大小2つの滝を間近に見ることができます。



有明の滝





白旗山全景
(平成16年8月撮影)

散策路
 林道



自然観察の森

●自然観察の森 (85ヘクタール)

散策路沿いには解説板がついて、森の生き物、カラマツ林などの造林地の仕組みについて学べます。

●札幌ふれあいの森 (122ヘクタール)

【施設】

開館日: 4月下旬～11月上旬

開館時間: 9:00～17:00

○ふれあいセンター

森林や林業に関する展示をしています。

講習会場として利用もできます。

夏は案内人がいますので、いっしょに歩いているいろいろな話を聞くことができます。

電話: 883-8931

○木工館

木を使った工作を気軽に楽しめます。

工作の指導もしています。

○炭火焼きコーナー

バーベキューができます。(炭等の用具は持参)



ふれあいセンター



木工館

8 自然観察ができる公園や緑地

清田区には公園や緑地が200カ所以上もあります。1人あたりの面積では、札幌市10区の中でも手稲区に次いで第2位です。

ここでは、自然観察におすすめの公園・緑地4つを紹介します。

●北野たかくら緑地（北野6、7条4丁目）

大正13年（1924年）高倉佐輔が牧場として開拓したところの一部を緑地にしたものです。コナラの森が野鳥や虫たちの楽園になっています。



面積43,370m²



小鳥の池

●清田南公園（清田7条2丁目）

土地の高さの変化に富んだ地形と清田川貯水池が美しい公園です。



面積69,421m²



清雲橋

2 自然ウォッチング

● 清田緑地 (清田1条3丁目)

平成10年(1998年)に木道や散策路が整備されました。春にはミズバショウなどが見られます。



木製階段



厚別川河畔

● 厚別川緑地

清田区を南北に流れる厚別川は、札幌で2番目に長い川。

歩いてみながら生き物たちを探してみましよう。



◆ 清田区にある自然を見つけよう!

清田区には自然がまだたくさんあるんだね!

公園や緑地にある自然を見つけ、34~35ページの「ワークシート」にかいてみよう。



植物、鳥、こん虫などを見つけたら、よく観察してかいてみてね。お友だちと話したこともかいておくと楽しいよ。

(※「ウオッチングのころえ(10ページ)」を守ろう!)



1. 清田区で植物・鳥・こん虫などが、見つかりそうなところはどこだろう?
2. 11ページの図をもとにして、見つけに行く場所(公園や緑地)の話し合いをしよう。
3. 実際に公園や緑地に行き、植物・鳥・こん虫などを見つけてみよう。
4. 見つけたものを観察してワークシートにスケッチしてみよう。
5. 観察して気がついたことをワークシートにまとめてみよう。
6. 学校や家に戻ってきたら、この本を見ながら、見つけたものの名前を調べてみよう。
(名前がわからなかったものは、インターネットや図書館でも調べてみよう。)
7. 自由研究発表会や観察発表会のときに、調べたことを発表してみよう。

【ワークシートの記入例^{れい}】

<p>清田区にある自然を見つけよう！</p>	<p>3年 1組 名前 きよた たろう</p>
<p>見つけたもの： こん虫</p>	<p>見つけた場所： 平岡公園</p>
<p>見つけたものを・・・スケッチで表す^{あらわ}・言葉で表す^{ことば}・みんなで話し合う・・・など</p> <p>①見つけたものの名前（ キアゲハ ）</p> <p>草はらで見つけた。 白い花にとまって、 みつをすっていた。 花をしらべたらセリのような。</p> 	<p>②見つけたものの名前（ アキアカネ ）</p> <p></p> <p>池のそばの木の枝にとまっていた。 体はきれいな赤っぽい色をしていた。</p>
<p>7月30日（月）</p>	<p>7月30日（月）</p>
<p>○学校や家に戻ってから「みんなで作ろう明日のきよた」を見て、見つけたものの名前を調べてみてね。</p>	

清田区にある自然を見つけよう！

見つけたもの： _____

見つけたものを・・・スケッチで表す・

①見つけたものの名前（ _____ ）

_____ 月 日（ _____ ）

○学校や家に戻ってから「みんなで創ろう明日のき

____年 組 名前

見つけた場所：^{ばしよ}_____

^{ことば}言葉で表す・みんなで話し合う・・・など

②見つけたものの名前（ _____ ）

____月 日（ _____ ）

よた」を見て、見つけたものの名前を^{しら}調べてみてね。

③ 歴史をたずねて

1 地域の歴史を調べよう

清田の開拓の歴史は、今から約 150 年前にさかのぼります。

明治 2 年 (1869 年)、明治政府は、北海道の開拓を進めるために「開拓使」という役所を置くことを決めました。

開拓使は、北海道に移り住む人々を募集しました。明治 4 年 (1871 年)に、岩手県から 44 戸の移民団が月寒に入りました。その中には、清田開拓の最初の人といわれる長岡重治や当時 10 歳の吉田善太郎などもいました。

このころ、清田のあたりは「アシリベツ」と呼ばれていました。今でも、厚別川や厚別神社などに、その名前が残っています。

今では想像できませんが、このあたりは昼間でも暗い、うっそうとした原始林におおわれていました。開拓に入った人たちは、大木を切りたおし、荒れ地を耕して、畑や水田を開いていきました。こうした先人の努力によって、今の清田になりました。

みなさんも、清田の昔について調べてみましょう。

・きよた歴史図鑑でも調べてみよう。 ホームページ <https://www.city.sapporo.jp/kiyota/chiki-shinko/kiyotarekisisukan.html>

あしりべつ郷土館に行ってみよう



●あしりべつ郷土館

札幌市清田区清田 1 条 2 丁目

現代から開拓の頃までの清田の歴史を学ぶことができるミニ博物館です。

昔の生活用具や農具をはじめ昔の家屋の内部を再現して展示しています。

また、コンピュータによる調べ学習や体験コーナーでの体験学習もできます。

開館日 水曜日、土曜日

(但し、年末年始、区民センターの閉館日は休館です)

開館時間 10:00 ~ 16:00

入館料 無料

お問い合わせ あしりべつ郷土館運営委員会
(TEL 885-0869)

人物を通して調べてみよう

清田の開拓や発展につくした人について、調べてみよう。

なが おかじゅうじ 長岡重治

長岡重治は、清田の開拓に力をそそいだ人です。

重治は、厚別川のほとり、丘の南の日当たりのよい土地に水田を開き、アシリベツで最初に米作りを始めました。

そのころは、移り住んでくる人もほとんどなくて、開かれた土地は、今の清田小学校のあたりのわずかな所だけだったそうです。



なか やまきゆうぞう 中山久蔵

明治6年(1873年)から、島松のあたりで開拓を始めたのが中山久蔵です。

江戸時代の終わりのころから、室蘭と札幌を結ぶ道(今の国道36号のもと)がありました。その途中には、いくつかの駅通えきていがあり、久蔵は島松の駅通の仕事をしていました。また、久蔵は、たいへんな苦勞くろうの末、石狩いしかりで初めて米作りに成功しました。そして、長岡重治などまわりの人たちに赤毛米あかげまいという種もみを分けてあげました。

★駅通……旅人が休んだり、泊まったりできる宿のようなところ



石狩で最初に作られた赤毛米

よし だせんたろう 吉田善太郎

吉田さんについては
49ページをみてね



地域の古いものを探してみよう!

～清田区歴史マップ～

●北野たかくら緑地【北野6、7条4丁目】

30ページを見てね



●北野墓地と光円寺【北野1条2丁目】

開拓のきびしい労働で亡くなった人々などの墓地として作られました。亡くなった人をとむらうために明治34年(1901年)、説教所が建てられ、のちにお寺になりました。



●吉田用水記念碑【清田1条1丁目】

吉田善太郎は、明治24年(1891年)に北野から月寒川に通じる「吉田用水」を造りました。



●開拓功労碑【清田1条4丁目】

長岡重治は、この地で米作りをはじめ、用水路や橋、神社、学校の建設など、地域の発展につくしました。この石碑は昭和22年(1947年)に建てられました。



●あしりべつ郷土館【清田1条2丁目清田区民センター2階】



36、40ページを見てね



●三里塚神社【美しが丘1条9丁目】

明治30年(1897年)に八幡神社として造営され、のちに三里塚神社に改称しました。





● 厚別神社【平岡1条1丁目】

明治18年(1885年)、穀物の豊作と村人の安全を願って、長岡重治らによって建てられました。大正6年(1917年)に今の場所に移りました。



◀境内にある
「清田開基百年碑」

● 平岡樹芸センター【平岡4条3丁目】

昭和54年(1979年)に竹沢三次郎が1.6 haの土地と8,000本もの樹木を札幌市に寄贈しました。

これをもとに、まわりの土地と合わせて造られた公園です。



● レンガ倉庫【平岡1条2丁目】

りんごや雑穀をためるのに使われていました。昔は土蔵や軟石造りでしたが、このレンガ倉庫は昭和20～30年代に建てかえられたものです。



● 三里塚小学校前のイチイ(オンコ)

【里塚2条6丁目】明治2年(1869年)に、ひろしまじろうざえもん(う)が植えたといわれています。現在は、三里塚小学校の校木となっています。



● 三里塚碑【平岡2条6丁目】

明治13年(1880年)に建てられた三里塚碑は、昭和20年代になくなってしまいましたが、平成16年に三里塚小学校の開校100周年をきっかけに再び建てられました。



● 有明神社【有明106番地】

明治33年(1900年)「公有地神社」として建てられ、のちに今の場所に移されました。



◀境内にある
「有明開拓記念碑」

あしりべつ郷土館



のこ・かま



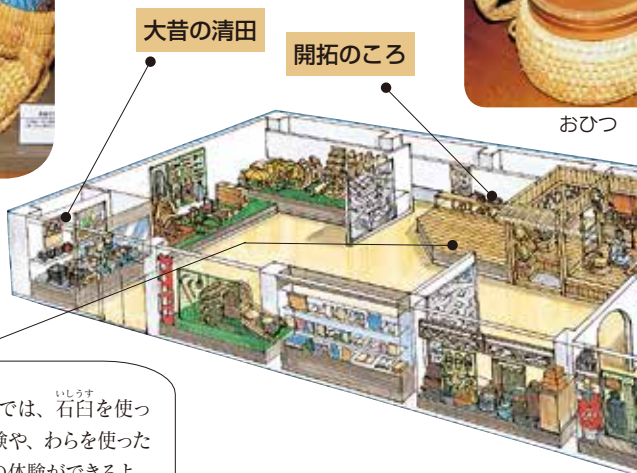
台所の様子



わらで作ったはきもの



おひつ



大昔の清田

開拓のころ



体験コーナーでは、石臼を使ったひきうす体験や、わらを使った小物作りなどの体験ができるよ。



昔の教科書

郷土の図書閲覧コーナーでは、清田区や札幌市など、この地域に関係した本や資料を見ることができよ。



家の中の様子



足ぶみ式脱穀機



昔の農具



石臼



ランプ



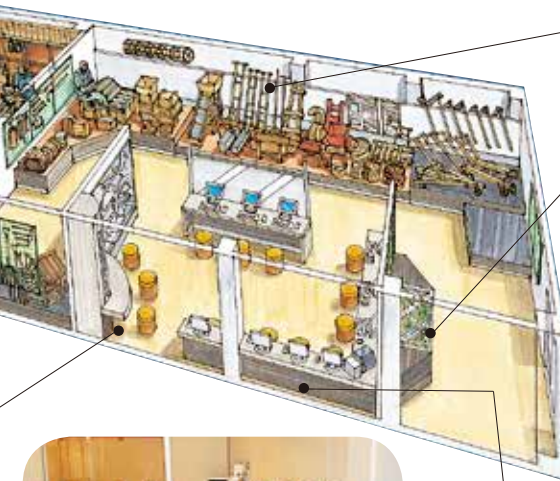
きねとうす



冷蔵庫



アイロン



昭和のころ

今の清田



ここが入口。今の清田区の様子がわかるよ。そして、中に入っていくと、だんだんと時代が古くなっていくんだよ。



情報検索コーナー

情報検索コーナーでは、調べたいことや興味のあることを自由にパソコンを利用して調べられるよ。

2 清田区のあゆみ

札幌市の中に清田区ができたのは平成9年（1997年）ですが、私たちの住む地域は、北海道が「えぞ地」と呼ばれていたはるか昔からの長い歴史をもっています。

江戸時代の末から平成までの清田のあゆみを見てみましょう。

年号	西暦	できごと
安政4年	1857	札幌越新道（室蘭街道のもと）ができる このころ志村鉄一と吉田茂八が、豊平川のほとりに渡し守として定住
明治2年	1869	東京に開拓使が設置され、札幌の建設が始まる 木村という人が今の真栄で駅通を営む
4年	1871	長岡重治を含む44戸185人が岩手県から月寒に移住
6年	1873	室蘭街道（札幌本道）ができる（今の国道36号のもと） 中西安蔵が今の清田小学校のところで駅通を始める 長岡重治がアシリベツに移る
10年	1877	長岡重治が最初の水田を作る（今の清田小学校あたり） クラーク博士が室蘭街道を通過して札幌を去る
11年	1878	重治の子、徳太郎が中西安蔵から駅通を引き継ぐ
14年	1881	明治天皇が室蘭街道を行幸
18年	1885	厚別神社が建てられる
24年	1891	吉田善太郎が北野に用水路を造りはじめる
27年	1894	日清戦争が起こる
28年	1895	アシリベツに寺子屋式の学校ができる
31年	1898	厚別川が洪水になる
32年	1899	寺子屋式の学校が月寒小学校厚別分教場（清田小学校のもと）になる
33年	1900	公有地神社（今の有明神社）ができる
34年	1901	厚別分教場が厚別小学校として独立 アシリベツ説教所（のちの光円寺）ができる
35年	1902	月寒村、豊平村、平岸村が一つにまとまって豊平村になる
37年	1904	日露戦争が起こる
41年	1908	豊平村が豊平町になる
42年	1909	豊平川や厚別川が洪水になる

ねんごう 年号	せいれき 西暦	できごと	
大正3年	1914	だいいち じ せ かいだいせん 第1次世界大戦が起こる	
11年	1922	札幌市が誕生(人口12万7044人) しゆん さ ちゆうざいしよ 巡査駐在所ができる	
12年	1923	厚別川が洪水になる	
13年	1924	とよひらばし えいけいばし 豊平橋が永久橋になる きたくら ほかくじやう 北野に高倉牧場ができる	
しやうわ 昭和	15年	1940	とうげん せうびんきよく 東月寒郵便局(今の清田郵便局)ができる
16年	1941	たいへいじやう 太平洋戦争が始まる	
18年	1943	清田に電灯がつく	
19年	1944	あしりべつ ちゆうき せいん きたの ほんめい ひらおか さとづか ありあけ くいせき アシリベツ地域が清田・北野・真栄・平岡・里塚・有明の6区域に分かれる	
20年	1945	太平洋戦争が終わる 平岡に電灯がつく	
21年	1946	北野に電灯がつく	
23年	1948	里塚に電灯がつく	
24年	1949	有明に電灯がつく	
25年	1950	第1回さっぽろ雪まつりが開かれる	
28年	1953	札幌と千歳を結ぶ弾丸道路(国道36号)の舗装が完成	
36年	1961	豊平町が札幌市と合併する	
40年	1965	里塚公園が造られる	
46年	1971	国道36号の一部(北野から里塚の間)を、直線で結ぶ道路にきりかえる どうおう じ どうしゃどう きたひろしま かいつう 道央自動車道の千歳から北広島の間が開通	
47年	1972	第11回冬季オリンピック札幌大会が開かれる 豊平区が誕生し、豊平区清田出張所ができる	
51年	1976	地下鉄東西線が琴似駅から白石駅まで開通	
54年	1979	道央自動車道の北広島から札幌南の間が開通	
57年	1982	地下鉄東西線が白石駅から新さっぽろ駅まで延長される	
58年	1983	清田地区郷土館(あしりべつ郷土館)ができる	
63年	1988	地下鉄東豊線が栄町駅から豊水すすきの駅まで開通	
平成2年	1990	ひつじが おかどおり 羊ヶ丘通が開通	
3年	1991	平岡公園が開園する	
6年	1994	地下鉄東豊線が豊水すすきの駅から福住駅まで延長される	
9年	1997	清田区が誕生(人口10万4988人)	
14年	2002	あしりべつ郷土館がリニューアルされる	
19年	2007	「清田区誕生10周年」	
29年	2017	「清田区誕生20周年」	

3 昔のくらし

昔の家(今からおよそ145年前)

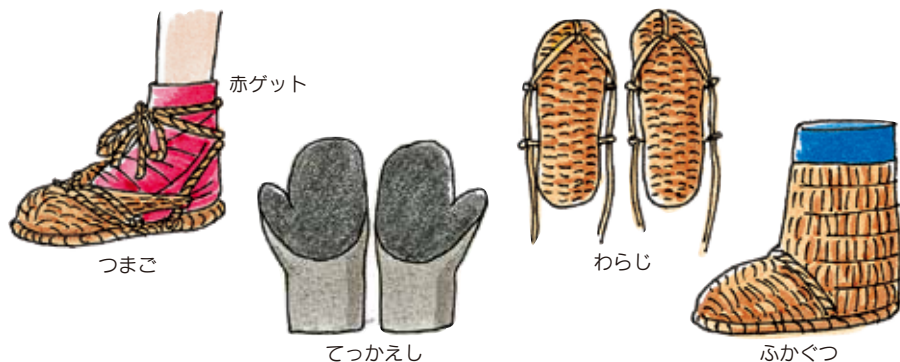
開拓のはじめは、雨やつゆをしのぎ、冬の寒さから身を守る掘っ立て小屋を建てることから始めなければなりません。小屋は、切りたおした木で骨組みを作り、「くまざさ」や「かや」でまわりを囲いました。入り口はむしろ1枚、床などはなく土の上に草をしき、真ん中に穴を掘って、炉にしました。夏はブヨやカにせめられ、冬はふきこんでくる雪や寒さに苦しめられました。



小屋がけといわれる入植者の家づくり

昔の服装(今からおよそ145年前)

開拓のころは、上は着物で下は「ももひき」でした。はげしい仕事のためにすぐにボロボロになりましたが、新しいものは買えないので何度もつぎあてをして着ていました。はきものは、夏は「わらじ」や「げた」、冬は「ふかぐつ」や「つまご」で、全部自分たちで作りました。「赤ゲツ」という布を足にまいて「つまご」をはいたり、中にわらを入れて寒さをしのぐこともありました。手につけていたのは、「てっかえし」という布でできたものでした。ズックのくつやゴムのくつがはけるようになったのは、昭和の時代になってからです。



昔の食べ物

昔は、食べ物も満足にありませんでした。自分の畑で作ったソバ、ヒエ、ジャガイモ、粟、イナキビなどを食べて過ごしていました。米は貴重品で、ときどきしか食べることはできませんでした。

明治時代もあとの方になってくると、パンなども手に入るようになりましたが、米だけの白いごはんが食べられるようになるのは、ずっと後のことです。

昔の道具

道具も今とはずいぶんちがっています。使いかたなどを調べて、昔のくらしを想像してみましょう。



ランプ

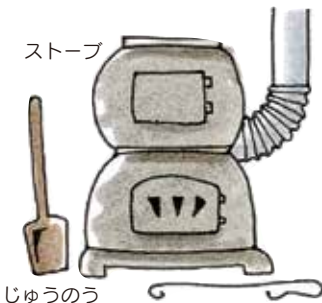


せんたく板

たらい



ポンプ



ストーブ

じゅうのう

テレッキ



かま

かまど



せりん



使われていた時期は、場所によってちがうよ。

4 昔の仕事

清田区の開拓の中心は、もちろん農業でした。それは、たいへんな苦勞でした。今のような機械のない時代です。それでも、馬を使うようになってかなり楽になりました。畑では、ソバ、エンバク、麦、ジャガイモ、カボチャ、トウモロコシ、豆類などを植えていました。

農業の他にも、次のような産業がありました。

すみ や
炭 焼 き

開拓当時は、人口が少なく、野菜を作っても買う人はいませんでした。そこで、豊かな森林の木を切って、まきや木炭にしました。これが冬場のたいせつな仕事で、現金収入になりました。



ありあけ すみや 炭焼き 風景 (昭和27年ころ)



炭はどうやって作るのかな

【炭のつくりかた】

- ①炭窯に原木を入れる。
- ②窯の口で、枝などを燃やす。
- ③2~3日かけてゆっくりと炭化させる。
- ④窯の温度を上げる。
- ⑤窯の口を泥で密閉する。
- ⑥火が消えて温度が下がるまで4~5日待つ。
- ⑦窯を開けて炭を出す。



このように、炭をひと窯焼くのに8~10日かけて行います。

木の切り出し

今の真栄の奥の方は大原始林で、質のよいカツラ、夕モなどの大木がたくさんありました。それらの木を切り出して厚別川に流し、土場と呼ばれる場所に集められました。そしてそこからは、馬車や馬そりを使って札幌へと運ばれていきました。

このころ、札幌の町の発展にともない、大量の木材が必要でした。昔の建物には、この木材が使われたということです。



木材の運び出し（明治44年ころ）

りんご作り

大正8年（1919年）、それまで中の島でりんごを栽培していた三ツ屋宇太郎が、広くりんごの栽培をしようと考え、平岡（清田区土木センター付近）に土地を求めて苗木を植えたのが、りんご作りのはじまりです。

それから畑や山をもっている人は、次々とりんごを植えるようになりました。畑作だけでは収入が少なく、生活がきびしかったのが理由です。戦時中でも、りんごを物々交換し、着る物には不自由しなかったそうです。昭和35年（1960年）くらいまでは、平岡のあたりでは一面まっ赤なりんごがなっている風景がよく見られました。



りんごの収かく風景（昭和11年ころ）

5 米作りの時代

開拓した人たちは、厚別川ぞいに広がる低地に水田を開くことを一番のねがいとしていました。しかし、寒い北海道での米作りはたいへんむずかしく、苦労がたくさんありました。

明治10年（1877年）に、長岡重治は、島松の中山久蔵から、寒さに強い「赤毛」という品種の種もみを分けてもらい、水田作りをこころみました。はじめは、まいた種もみと同じぐらいの収かくしかありませんでしたが、根気よく努力を重ねていきました。

米作りを行うためには、水の問題を解決しなければなりません。最初は地下水を利用していましたが、水温が低いために米作りに適していなかったのです。そこで人々は、力を合わせて用水を掘りました。北野の発展に大きな役割を果たす吉田用水も、このころ造られました。

こうして清田から北野、真栄へと水田が広がっていき、米作りがさかんな地域になりました。

今では清田区に水田はほとんど残っていませんが、「清田」の名前にこのような歴史の名残をとどめています。



真栄1条2丁目付近での田植えのようす（昭和32年）

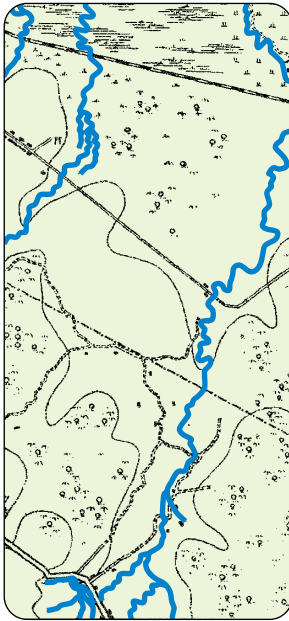
吉田用水

吉田用水がなければ、この地域の発展はなかったと思われるほど重要な役割を果たしました。この水路は、旧国道36号にかかる厚別橋の下流300メートルの地点から、大谷地小学校の東側を通って、函館本線を横断するものでした。機械などなく、人の力による工事ですからたいへんな苦労でした。右の地図で、吉田用水と水田の広がりを見てみましょう。

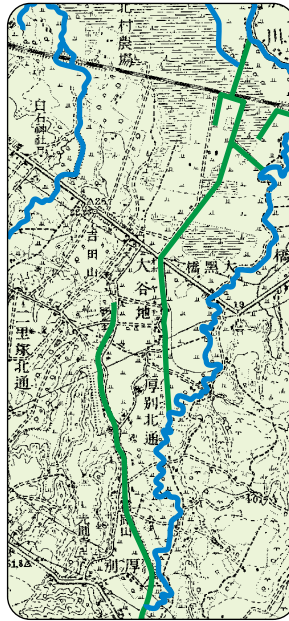


清田区では、昭和50年ころから「ポーラスター」という名前のほうれん草が作られているよ。清田の夏の涼しい気候と綺麗な水で育った「ポーラスター」は甘くておいしいよ！

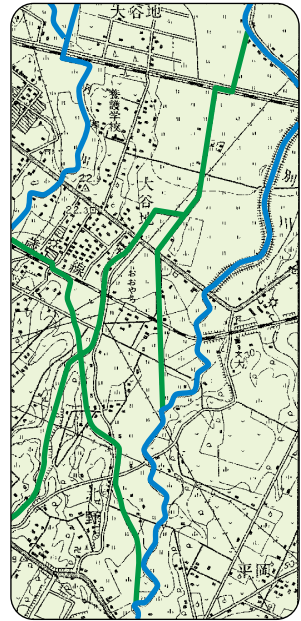
●吉田用水による水田地帯の発展のようす (白石区役所発行『白石歴しるべ』より)



▲明治 29年 (1896年) 発行
吉田用水はまだ地図には表れていない



▲大正 5年 (1916年) 発行
吉田用水が地図に表れている



▲昭和 40年 (1965年) 発行
用水が広がっている

吉田善太郎

吉田用水を造った吉田善太郎という人は、どんな人物だったのでしょ。

善太郎は、人並みはずれた努力家だった上に、時代の先を見通す目と行動力がありました。

用水掘りの相談があった時も、すぐに協力することにしました。地域の米作りに貢献しただけでなく、大谷地や月寒の丘を切り開いて牧場にし、乳牛の品種改良にも尽くしました。

今では北野に水田はなくなっていますが、東月寒地区との間を流れる「吉田川」に善太郎の名前が残っています。



6 室蘭街道

室蘭街道は、今の国道36号のもとになった道路です。「札幌越新道」として江戸時代の末に開かれたそまつな道をもとに、開拓使が明治6年（1873年）に作ったもので、当時は「札幌本道」とも呼ばれていました。「少年よ大志をいだけ」という有名な言葉を残したクラーク博士も、この室蘭街道をかって札幌を去りました。

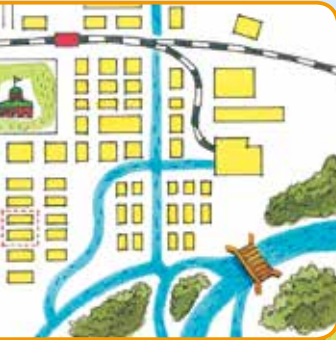


「旧道」って知ってる？



国道36号のうち北野から里塚の間は、昭和46年(1971年)に直線で結ぶ道路にきりかわりました。もとの道路(旧国道36号)は今でも市道として利用されていて、地域の人は親しみを込め「旧道」と呼んでいます。

今から100年ほど前の想像図だよ



清田には家がまだ何十軒かしかありませんでした。



ちよつと六里塚をすぎたあたりにありました。

7 小学校の移り変わり

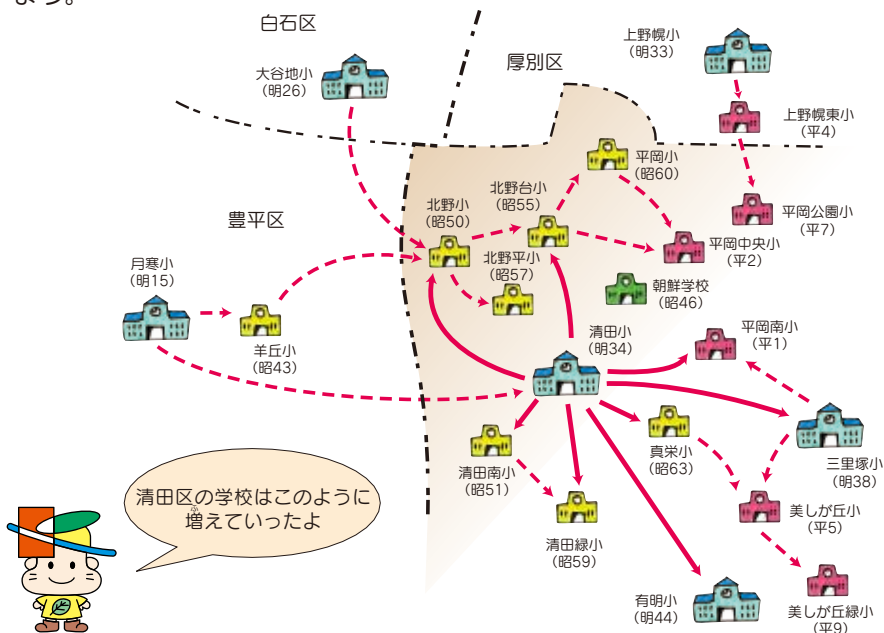
開拓に入った人たちは、子どもたちの教育がたいせつと考え、開拓のきびしい暮らしの中から、自分たちでお金や土地を出し合ったり、建物を借りたりして学校を作りました。開拓が順調に進み、周辺に広がるにつれ、分校ができてやがて今のような学校になる、というように小学校はまちの広がりとともに増えてきました。

清田区で最も古い小学校は清田小学校ですが、そのもとになったのは、明治の昔に長岡重治の家で寺子屋式に開かれていた学校でした。

その後、月寒小学校厚別分校場になり、明治34年（1901年）に厚別小学校となりました。

続いて明治の間に開校したのが三里塚小学校と有明小学校の2校で、昭和期（昭和50年以降）に7校、平成になって5校の小学校が清田区に建てられ、現在合わせて15校あります。

下の図を参考に、自分たちが今通っている学校の歴史を調べてみましょう。



明治から昭和のはじめのころの学校の様子

昔の清田小学校（厚別小学校）の様子は次のようなものでした。今のみなさんの学校と比べてみましょう。

●明治34年（1901年）ころ

小学校は、4年生までしかありませんでした。そして、1年生から4年生まで1つの教室でいっしょに学びました。生徒は59名、先生は1人でした。習うことは、読み・書き・そろばんで、教科書と石ばん・石筆をふろしきにつんでもって行きました。



石ばんと石筆

●大正13年（1924年）ころ

このころの教科書は、文部省が作ったもので、全国どこの小学校でも同じものを使用しました。教科は、修身、国語、算術、国史、地理、理科、図画、工作、唱歌、体操、裁縫でした。理科は4年生から、国史・地理は5年生から習いました。裁縫は、4年生以上の女子だけが習いました。修身の教科書は、とくにたいせつにするようにいわれました。



当時の教科書

●昭和12年（1937年）ころ

教育内容は「戦争に役立つ人になるように」ということがねらいでした。学校でも、戦争に関係のある話や勉強がだんだん多くなってきました。唱歌の時間には、軍歌や行進曲など勇ましい歌を歌いました。月寒にあった歩兵25連隊の軍人が「軍事講話」をしに来ることもありました。食べ物も不足し、衣服や石けんまでも自由に買うことができず、国からの割り当てになりました。国内に資源の少ない日本は、戦争になると不自由な生活をしなければなりませんでした。

8 地名の由来

清田区のまちや川や山の名前は、どのようにしてでき、どういう意味をもっているのでしょうか。

地名のおもなものは次のとおりですが、他の地名についても調べてみましょう。

まちの名前

厚別（アシリベツ）

現在の清田区にあたる地域^{ちいき}一帯^{いつたい}を、昔^{むかし}はこう呼びました。

厚別^{あしりべつ}川をさすアイヌ語から生まれた名前ですが、いろいろな説^{せつ}があります。

「アシリ・ベツ」……新しい川

「ハシベツ」……かん木^{ぼく}（低い木）の川

「アップベツ」……オヒョウダモ（木の一種）の川



まちの名前としては使われなくなりましたが、川や滝などの名前としては今も残っています。

昭和19年（1944年）に、6つの区域^{くいき}に分けられてそれぞれ次の名前がつけられました。

●清田（きよた）

もとは「厚別本通^{あしりべつほんどおり}」と呼ばれたあたりです。

美しい清らかな水田地帯^{ちたい}という意味で「清田」とつけられました。

●平岡（ひらおか）

もと厚別本通の一部で「坂の上^{いちはぶ さか}」といわれていました。

平らな丘（岡）という意味で「平岡」とつけられました。

●真栄（しんえい）

もとは「厚別南通^{あしりべつなんどおり}」と呼ばれたあたりです。

この土地が神様のお恵み^{かみさま めく}でますます栄える^{さか}ようとの願いをこめて「真恵^{ねが}」と一度は考えましたが、考え直して「真栄^{しんえ}」にしました。

●北野（きたの）

もとは「厚別北通^{あしりべつきたどおり}」といったあたりです。

厚別の北に広々と広がる原野^{はら}という意味で「北野」という名前にしました。

●里塚（さとづか）

札幌の中心から3里（約12キロメートル）であることを示す印（塚）があったことから「三里塚」と呼ばれていました。

「三」をとって「里塚」とすることにしました。



●有明（ありあけ）

もと篠路屯田の公有地だったので、そのまま「公有地」と呼んでいました。

「有」の字を生かし、「明るい」の意味をそえて「有明」となりました。

川の名前

●厚別川

同じ漢字を使いながら、厚別区より下流では「あつべつ」川、清田区より上流では「あしりべつ」川と読まれています。



参考

厚別川の管理をしている北海道（道庁）では、上流も下流も区別せずに「あつべつ」川と呼び、川のほりにそのように書かれた標示板を立てています。

●山部（やまべ）川

アイヌ語の「ヤム・ペ」（冷たい川）から名づけられました。

●トンネ川

アイヌ語の「トンニ・ウシ・ナイ」（ナラの木が群生する川）からきています。

●ポントネ川

アイヌ語で、小さいトンネ川という意味です。

●大曲（おおまがり）川

大曲の地名は、もとの国道36号がこのあたりで大きく曲がっていたことから名づけられました。

●吉田（よしだ）川

吉田善太郎がこのあたりに造った用水路を吉田用水、吉田川と呼んでいましたが、今はこの地域を流れる川の名前として残っています。

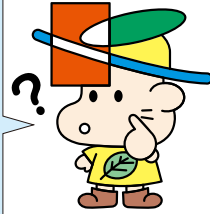
山の名前

●白旗山（しらはたやま）

篠路屯田兵が「公有地」（今の有明）で測量をしたとき、自印の旗をこの山に立てたところから名づけられました。



◆ 清田区の歴史を見つけよう!

清田区には、長い歴史の足あとがあるんだね！
 家や学校の近くにある昔の建物、道具などを見つけ
 たら、よく見て58～59ページの
 「ワークシート」にかいてみてね。
 お友だちと話したこともかいておくと楽しいよ。
 (「清田区歴史マップ(38～39ページ)」の他にも
 たくさん見つけよう！)



1. 36～55ページをもとに、清田区にある古い建物や石ひなど、調べる
こと(昔のくらし、建物、道具など)を決めよう。
2. 36～55ページをもとに、見つけに行く場所(あしりべつ郷土館、
昔の建物がある場所、図書館など)の話し合いをしよう。
3. 実際に調べる場所に行き、歴史を感じるものを見つけてみよう。
4. 見つけたものをよく見てワークシートにスケッチしてみよう。
5. 気がついたことをワークシートにまとめてみよう。
6. 学校や家に戻ってきたら、この本を見ながら、見つけたものの名前を
調べてみよう。
7. 自由研究発表会や観察発表会のときに、調べたことを発表して
みよう。

【ワークシートの記入例^{れい}】

<p>清田区^{なげし}の歴史を見つけよう！</p>	<p>3年2組 名前 きよた きよみ</p>
<p>見つけたもの： むがしのふくそうやどく</p>	<p>見つけた場所： あしりべつきょうどかん</p>
<p>見つけたものを・・・スケッチで表す^{あらわ}・言葉で表す^{ことば}・みんなで話し合う・・・など</p>	
<p>①見つけたものの名前 (ふくぐつ)</p> <p>むがしの人は、冬にふくぐつをはいていた。 わらでできていて、今のブーツよりずっとさむそう。 はじめはホカホカするけど、長い時間はいてると、中がぬれてくるみたい。</p> 	<p>②見つけたものの名前 (ポンプ)</p> <p>むがしの人は、水をつがう時にポンプをつがっていた。 ただうごがしても水は出てこないの、よひ水とこういうことをしなければいけないがたらしい。 めんどうくさそうだけど、清田の地下水をつがっていたので、リョウリヤ水はあしがったと思う。</p> 
<p>7月4日(水)</p>	<p>7月4日(水)</p>
<p>○学校や家に戻ってから「みんなで創ろう明日のきよた」を見て、見つけたものの名前を調べてみてね。</p>	

清田区れき しの歴史を見つけよう！

見つけたもの： _____

見つけたものを・・・スケッチであらわ表す・

①見つけたものの名前（ _____ ）

_____ 月 日（ _____ ）

○学校や家もとに戻ってから「みんなで創ろう明日のき

____年 組 名前

見つけた場所：^{ばしよ}_____

^{ことば}言葉で表す・みんなで話し合う・・・など

②見つけたものの名前（ _____ ）

____月 日（ _____ ）

よた」を見て、見つけたものの名前を^{しら}調べてみてね。

4 まちづくりは今

ここでは、現在の清田区のまちづくりや暮らしについて考えます。
住みよいまちをつくっていくには、わたしたち「市民」も「まちづくり」
に取り組んでいくことが大切です。

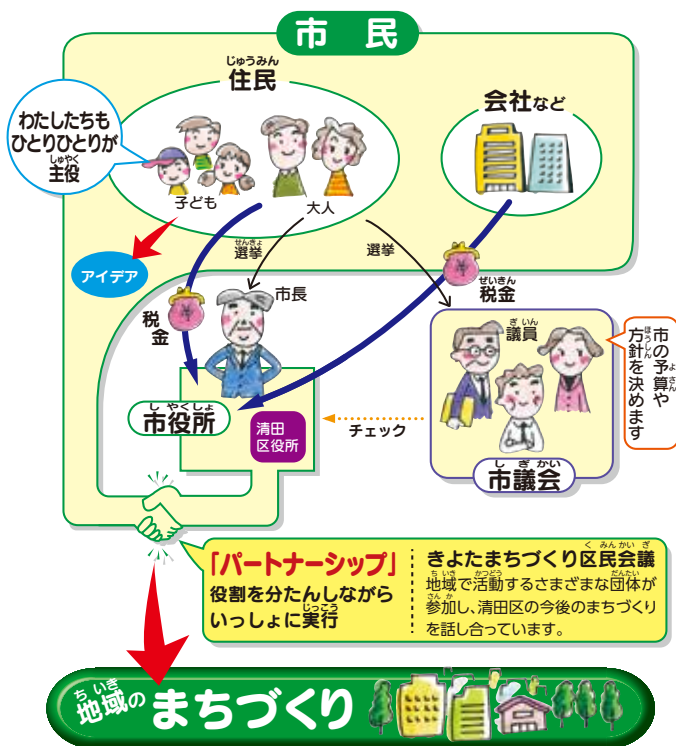
わたしたちができる「まちづくり」には、どんなものがあるのでしょうか？

みんなで知恵を出し合い、よりよい清田をつくっていきましょう。

1 まちづくりの進め方

まちづくりは、「市民」であるわたしたち、選挙で選ばれた議員さんたちの集まりである「議会」、市長をはじめとする「市役所」がそれぞれの役割をはたして、協力しながら進められています。

中でも、主役になるのはわたしたち住民です。



2 町内会の活動について

いちばん身近な町内会では、こんなまちづくりをしているよ。
住みやすいまちをつくるためにも、みんなも町内会に入って、いろいろなまちづくりにドンドン参加しよう!

おまつり



おまつりは、子どもから大人までたくさんの人が楽しめるよ!
町内会がおまつりを開催しているんだ。

街灯



暗い夜道はこわいよね。町内会は夜道を照らす街灯の設置と管理をしているよ。

回らんぼん



町内会では、回覧板や広報さっぽろ、地域イベントのお知らせを毎月届けているよ。

排雪

札幌の冬は雪が大変。
町内会は、地域の排雪に協力し、みんなを危険から守ってくれているよ。



ゴミステーションの管理

町内会では、ゴミステーションを設置し、カラスよけのネットをはったりして、きれいに管理しているよ。



3 地域で活動する人びと

住みよいまちにするために、町内会をはじめ、いろいろな地域の団体だんたいが活動しています。ここでは、子どもたちに関係する活動かんけいを紹介しょうかいします。



交通安全街頭啓発

あんぜん

安全なくらしのために

●交通安全運動推進委員会

交通事故が少しでも減るように、車の運転手さんに安全運転を呼びかけたり、子どもたちのための交通安全教室を行ったりしています。



清田っ子フェスティバル (子ども会)

そだ

子どもが元気に育つように

●子ども会

キャンプやおまつりなど、子どもたちがなかよく交流ごうりゅうできる行事ぎぎょうをいろいろ行っています。



清田区少年少女なわとび大会 (青少年育成委員)

いくせい

●青少年育成委員

子どもたちが元気に育つよう、地域・学校・家庭と協力していろいろな活動をしています。

やさしいまちにするために

清田区では、困った時にもみんなで支え合っていらしていきことができるよう、いろいろな人が活動をしています。

● 民生・児童委員

お年寄りや子どもたちなどが困ったときに相談相手になるなど、いろいろな活動をしています。

● 福祉のまち推進センター

地域で協力して一人ぐらしのお年寄りの手助けなどを行っています。

子どもたちが雪かきの手伝いをしている地区もあります。



福祉除雪（北野地区）

● クリーンさっぽろ衛生推進員

ごみ問題や町内清掃への取り組みなど、清潔で住みよい地域をつくる活動をしています。

4 川を生かしたまちづくり

清田区には、札幌市で2番目に長い厚別川をはじめ、たくさんの川が流れています。

川とわたしたちのくらしの関わりを調べて、川を生かしたまちづくりについて考えてみましょう。

〈昔の川は……〉



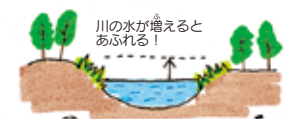
台風や大雨になると



昔の人々は川から直接飲み水や生活に使う水を得ていました。また、米などの作物を作るための水を引くなど川を中心に開拓を進めました。

しかし、時には「あばれ川」となって家や作物、橋などをおし流すこともありました。

(川の断面図)



まずは治水★を最優先



多自然型川づくり

今では、魚や鳥などの川に住む生き物のことも考えた工事が行われるようになりました。そして、川を生かしたまちづくりも考えられるようになりました。



今の工事

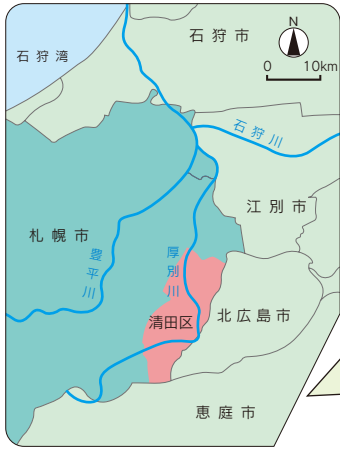
もともと川がもつ自然を守ったり創り出すこともたいせつだ!



堤防をつくるなど治水工事が行われるようになると、こう水が起りにくくなりました。しかし、生き物は住みにくくなりました。

★治水……川があふれるなどの、水による災害を防ぐこと

清田区の川



0 10km

× 小学校
● 橋



厚別川では毎年ヤマベの稚魚を放流しています。(北野地区)

いろいろ調べてみよう

- ・水はきれいかな
- ・どんな生き物がいるかな
- ・どんなふうに使われているかな
- ・治水工事はどうなっているかな
- ・だれが管理しているのかな



5 災害にそなえて

札幌市は地震や水害、台風などによる災害が少ないまちです。

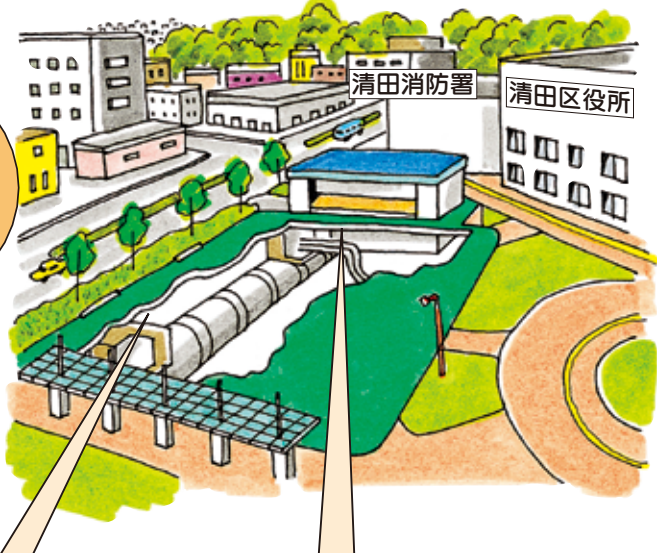
それでも、平成30年(2018年)に発生した北海道胆振東部地震のように災害がないわけではありません。

みなさんも、災害が発生したときにどうすればよいか、ふだんから家族や学校の先生などと話し合っておきましょう。

清田区にはこんなそなえもあるよ

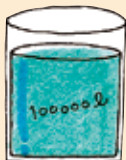
区役所前の広場の地下には、災害が起こったときにいつでも使えるように、飲み水や毛布などがたくわえられています。

区内すべての小中学校に、食料や簡易トイレなどがそなえられているよ。



緊急貯水槽には……

1万人の人が3日間生活できるように、10万リットルの水をためています。



防災備蓄倉庫には……

毛布、簡易トイレ、粉ミルク、コンロなど



ようい だいじ
ひとりひとりの用意が大事

区役所や学校に用意されているものは、あくまで最小限の量にすぎません。やはり日ごろから各家^{かかてい}庭などでそろえておくことがたいせつです。

次の例を参考にして非常持ち出し品^{ひじょうひん}を用意し、非常持ち出し袋^{ひじょうぶくろ}に入れておきましょう。食料、水（1人1日3リットル）は最低3日分は用意しておきましょう。

防寒具
携帯カイロ、毛布

衣類
下着、タオル、軍手など

貴重品
現金、預金通帳、カード、印鑑など

その他
ラジオ、懐中電灯、マッチ、手袋、ヒモ、ナイフ、缶切り、ビニール袋など

救急セット
傷薬、胃腸薬、
めづり
自薬、ほうたい、
ばんそうこう、
感染症対策のマスク、
体温計、消毒液
など

安全具
ヘルメット
など

食料品
乾パン、
缶詰、
インスタント食品
など

飲料水

赤ちゃんのために
ミルク、ほ乳ビン、おむつなど

**老人・身体の不自
田な方のために**
おんぶひも、常備薬
(メモまたはお薬手帳)、おむつなど

その他必要なものをメモしておきましょう

ちいき しょうぼう
地域では少年消防クラブも活やくしています

自分たちの住んでいるまちから火事をなくすために、消防のしごとや火のおそろしさ、けがの手当ての方法を学ぶクラブ、それが「少年消防クラブ(BFC)」です。

札幌市内に46クラブ、清田区には清田BFC、北野BFC、平岡BFC、里美BFC、清田中央BFCの5つのクラブがあり、小学1年生から高校生



放水体験を行うクラブ員

までの80人のクラブ員が地域の火災予防などに活やくしています。

きょうみのある人は消防署に問い合わせしてみましよう。



清田消防署の情報はこちら

ボーイス アンド ガールズ
BFCは Boys and Girls
ファイアー クラブ りやく
Fire Club の略だよ



6 環境にやさしくらしのために

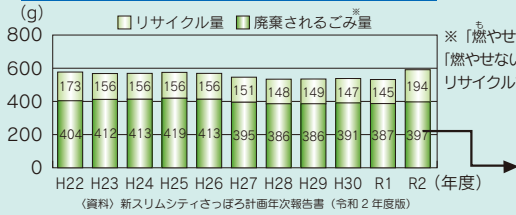
私たちは限りある資源と現在の地球環境を守っていかねばなりません。

ごみを減らし、資源を有効に利用する方法を考えてみよう

札幌市では、平成21年(2009年)7月から、一部の^{いちぶ}ごみの^{ゆうりょう}有料化や、「雑がみ」「枝・葉・草」の^{ぶんべつ}分別など、新しい^{あたら}しのごみ出しの^かルールを開始しました。当時、4つの^{せいそう}清掃工場で^{しゆり}処理をしていましたが、「新ごみルール」により、ごみを減らすことが出来たので、^{いま}現在では、3つの^{せいそう}工場で^{しゆり}処理ができるようになりました。

●私たちはどのくらいのごみを出しているの？

札幌市の1人1日あたりのごみ量(家庭ごみ)



平成21年の新ごみルール開始後は、^{はい}廃棄されるごみの量が^たくさん減っているね。^{もくひょう}目標まであと少し!!

【廃棄ごみ量の目標】
2027年度までに
1人1日あたり
340グラム以下

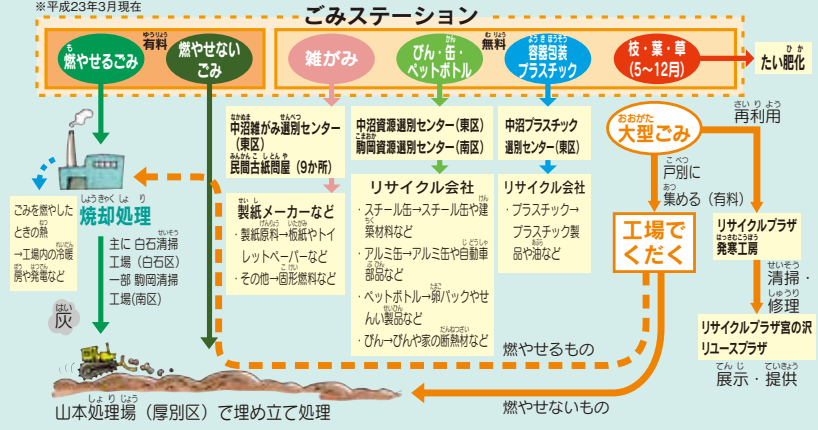


●どうしてごみを減らす必要があるの？

限りある資源をむだに使ってごみを出すことは環境にとって良いことではありません。また、今の埋め立て地は、あと20~30年でいっぱいになってしまう見込みで、^{べん}別な土地をさがさなくてはなりません。みんなでごみを減らすことは、これらの問題を乗り越え、私たちの住む環境を守ることに繋がります。

●清田のごみはどこへ行くの？

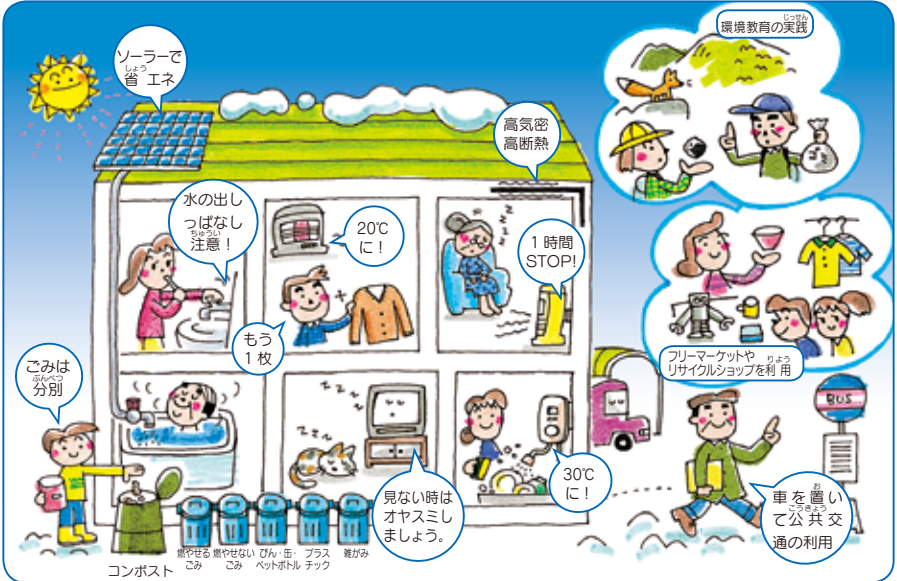
※平成23年3月現在



くらしの中で環境問題を考えよう

環境を守っていくために、毎日の生活の中でできることはたくさんあります。

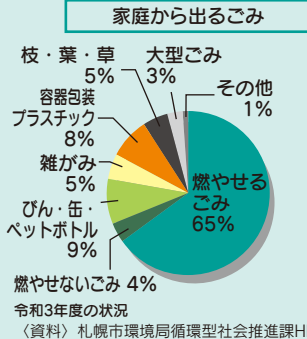
みなさんも、住みよい清田区を保つ^{たも}ていくために、自分に何ができるか考えてみましょう。



ごみ減量キャラクター「さっぼろミーゴス」

●ごみを減らすには——ごみ減量の4R

- ①リフューズ (Refuse) 【ごみを持ちこまない】
レジ袋や包装紙など、ごみになるものはもらわないようにしましょう
- ②リデュース (Reduce) 【ごみを減らす】
長く使える製品や、詰め替え用の商品を買きましょう
- ③リユース (Reuse) 【くり返し使う】
必要のなくなったものを欲しい人にゆずったり、壊れたものを修理して使しましょう
- ④リサイクル (Recycle) 【再資源化する】
空き缶やペットボトルなどを正しく分別しましょう



7 みんなもできるまちづくり

まちづくりの活動には、身のまわりからできることがたくさんあります。先生や地域の人たちと協力して、いろいろな活動にチャレンジしてみましょう。

ぶんべつ ごみ分別

ごみはきちんと分別して
決められた日に出そう。

きちんと分けることで「ごみ」は「資源」となり、新しく生まれかわることができます。

普段から、ごみの分別やステーションへの出し方に注意することも、広い意味でのまちづくりだね。



花だん

花だんにお花を植えて、
まちを明るくしよう。

道路のそばのお花は、地域のみなが植えてくれているんだ。

地域で行われる緑やお花を増やす活動に参加してみよう。

きれいなお花がたくさん咲いていると、まちが明るくなるよね。



雪かき

家の前や近所の雪かきのお手伝いを試みよう。

札幌は冬にいっぱい雪が積もりま
す。自分の家のまわりはもちろん、
近所のお年寄りの家のまわりの雪か
きをすることも、まちをよくする
きっかけになるよ。



とうげ こう あんぜん あんしん

登下校の安全・安心

登下校を見守ってくれる方 にあいさつを試みよう。

車や人がたくさん通る交差点で地域の方
が私たちの登下校を見守ってくれています。
低学年の生徒の安全に気を配ったり、見
守ってくれる地域の方に元気よくあいさつ
したり、小さなことに気をつけるだけで、
まちづくりが始められるよ。



先生・保護者の皆さまへ

この本は、子どもたちが清田区についてさまざまな角度から自主的に学ぶことができるように、小学校の先生をはじめ多くの区民の皆さまの協力を得ながら制作されたものです。

子どもたちがさらに詳しい内容を独自に調べられるよう、関係機関などの問い合わせ先についても下欄に掲載しました。

子どもたちに電話照会や訪問取材をさせる場合には、次の点にご留意ください。

- 予告なしに子どもたちが照会や訪問を行っても、受ける側は即座に対応できるとは限りません。回答のための事前確認や資料の用意が必要な場合もありますので、**あらかじめ先生や保護者から連絡をとり、協力を依頼する**ようにしてください。
- 同じ所に子どもたち一人ひとりがばらばらに照会・訪問を行うと、受ける側は混乱を来します。**事前に質問したい事項をまとめさせておく、単独ではなくグループで行動するように指導する**など、相手先への配慮をお願いいたします。



ダイヤルメモ

1 清田区ってこんなところ

- 区のいろいろな情報
・ 清田区総務企画課 広聴係【889-2018】
平岡1-1 清田区総合庁舎1階
- 区内の公共施設
・ 清田図書館 【889-2484】 清田区総合庁舎4階
・ 清田区体育館・温水プール【882-9500】 平岡1-5
・ 清田区民センター 【883-2050】 清田1-2
・ 里塚・美しが丘地区センター【888-5005】 里塚2-5

2 自然ウォッチング

- 鳥のこと
・ 日本野鳥の会 札幌支部 【613-7973】
- 平岡公園のこと
・ 平岡公園管理事務所 【881-7924】
- 白旗山の「自然観察の森」
・ 札幌市みどりの管理課 【211-2536】
・ 白旗山森林活用センター 【881-4196】
- 白旗山の「札幌ふれあいの森」
・ 札幌市みどりの管理課 【211-2536】
・ ふれあいセンター 【883-8931】
- 有明の滝「自然探勝の森」
・ 札幌市みどりの管理課 【211-2536】
- 北野たかくら緑地／清田南公園／清田緑地／厚別川緑地
・ 清田区土木センター維持管理課 【888-2800】

3 歴史をたずねて

- あしりべつ郷土館について
・ あしりべつ郷土館【885-0869】
清田1-2 清田区民センター2階
- 平岡樹芸センターについて
・ 平岡樹芸センター【883-2891】 平岡4-3

4 まちづくりは今

- 町内会のことは
・ 清田区地域振興課 まちづくり推進係
【889-2024】
- 交通安全のことは
・ 清田区総務企画課 地域安全担当係
【889-2006】
- 子ども会のことは
・ 札幌市子ども育成連合会 清田区支部
【883-7761】
- 青少年育成委員のことは
・ 清田区地域振興課 地域活動担当係
【889-2024】
- 民生・児童委員のことは
・ 清田区保健福祉課
【889-2034】
- 福祉やボランティア活動のことは
・ 清田区社会福祉協議会 【889-2491】
清田区総合庁舎3階
- 厚別川の治水と環境保全
・ 空知総合振興局札幌建設管理部 事業課【662-1161】
西区西野3-1
- 災害へのそなえ
・ 清田区総務企画課 地域安全担当係
【889-2006】
- 火災予防については
・ 清田消防署 防火推進係 【883-2100】
清田区総合庁舎2階
- ごみ処理や環境問題については
・ 豊平・南清掃事務所 【583-8613】
南区真駒内602



参考文献

1 清田区ってこんなところ

札幌市長政策室 政策企画部「さっぽろ統計情報」(札幌市ホームページ)

2 自然ウォッチング

札幌市みどりの推進部 「白旗山の自然ガイドマップ」(春・夏・秋・冬の各号)
〃 「さっぽろの公園・緑地ガイド 緑の中へ」
〃 「SAPPORO 自然ガイドマップ」
札幌市教育委員会 「さっぽろ文庫 4 豊平川」
小学館 「自然観察シリーズ 9 川・池の生物」(菅野徹 著)
〃 「〃 12 日本のチョウ」(海野和男・青山潤三 著)
北海道新聞社 「北海道の昆虫」(正・続)
〃 「新版 北海道の植物」(上・下)(谷口弘一・三上日出夫 著)
北海道大学図書刊行会 「北海道の鳥」(竹田津実・小川巖 著)
〃 「新版 北海道の花」(辻井達一・梅沢俊 著)
亜瑠西社 「北海道樹木図鑑」(佐藤孝夫 著)

3 歴史をたずねて

清田区総務企画課 「清田区ガイド」
札幌市教育委員会 「さっぽろ文庫」「新札幌市史」各巻
豊平町役場 「豊平町史」(昭和34年3月発行)
厚別小学校開校70周年記念祝賀協賛会「郷土誌あしりべつ」(昭和46年5月発行)
清田地区開基百年記念事業実行委員会「清田地区百年史」(昭和51年9月発行)
札幌市豊平区 「とよひら物語 碑をたずねて」(昭和55年3月発行)
〃 「とよひら物語 古きをたずねて」(平成4年3月発行)
札幌市白石区 「白石歴るべ」
平岡農事実行組合 「ひらおか」(平成11年10月発行)
光円寺 「開教百年記念誌」(平成11年8月発行)

4 まちづくりは今

札幌市危機管理対策室 『防災は日ごろの備え心の構え』(家庭防災のしおり)
札幌市環境事業部 『さっぽろGOMIマガジン』
〃 『札幌市環境基本計画』
空知総合振興局札幌建設管理部事業課 『厚別川をたんげんしよう!』(平成11年3月発行)

みんなで創ろう明日のまよた

●編集に協力していただいた先生●

役職は編集当時（平成26年3月）のものです。

高村 誠（札幌市立清田小学校 校長）
岩渕 昌彦（札幌市立北野小学校 教諭）
高木亜衣子（札幌市立美しが丘小学校 教諭）
高野京一郎（札幌市立清田南小学校 教諭）
中村 直樹（札幌市立有明小学校 教諭）
細江 忠子（元札幌市立平岡中央小学校 教諭）

●監修●

長岡 武夫

●協力●

札幌市小学校長会 清田支部

北川 栄一

濱松 志朗

林 茂

●企画・制作●

札幌市清田区地域振興課

〒004-8613 札幌市清田区平岡1条1丁目2-1

TEL(011)889-2024

FAX(011)889-2701

令和4年4月 第3版発行

SAPP
RO



さっぽろ市
01-Q01-23-4
R5-1-25

氏名

小学校	3年	組
	4年	組
	5年	組
	6年	組

この本は6年生まで大切に使いましょう。